

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	笑光		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	雨の日でも活動(運動)を行うに十分な機能訓練室が確保されている。	・床は安全に配慮された柔道の畳を使用し、足の裏からの刺激も子ども達の発達を促している。 ・活動スペースは基本的に柔道場のみとなっているため、支援員の目が届きやすくなっている。	
2	常に質の向上	・鹿屋体育大学との授業連携を行っているため、毎年学生が多数来て子ども達と一緒に活動をしてくれる。 ・海外の先生や柔道家を呼んで意見交換や講習をしてもらう。 ・県外への研修に頻繁に参加している。 ・柔道療育に関するワークショップを開催している	特になし
3	看護師、教員、柔道整復師の資格を持った職員が在籍している。	・資格を持った職員を配置することで、子ども達の課題に対して様々な面からアプローチをすることが出来ている。	さらに支援の幅を広げるために保育士の採用を検討している

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習能力の把握が難しい	柔道療育の一斉指導を行っているため、学習状況を把握することが難しい。	夏休み等の長期休業期間を利用し、子ども達の学習レベルを把握している。
2			
3			